

プラスチックフィルムの穿孔加工に特化し技術の高度化を図る

ホーサクシード株式会社 奈良県橿原市

■プラスチックフィルムの穿孔加工技術に特化

ホーサクシード株式会社（中川英樹社長）は、農業や工業等の各種産業に用いられるプラスチックフィルムの穿孔（穴開け）加工に特化した独自技術をもつ企業である。

中でも穴径約 10mm までのパンチング（打抜き）加工は、フィルムを熱針で溶かし穴を開ける方式に比べ、①2m 超の広幅フィルムに対応可能、②穴の形状が均質、③返り（穴周辺の盛り上がり）が少ない、等のメリットがある。このため、同社加工のフィルムは自動車用吸音材をはじめ高品質が求められる産業分野で利用されている。

厚み 0.02mm 前後と薄く柔らかいフィルムにパンチング加工を施すため、同社は 1 基最大 330 組に上るインジェクタピン（雄型）とボタンダイ（雌型）の隙間を全て 0.01mm に設定し、可動部分の誤差を 0.005mm 以内に収めている。こうした穿孔機の高い精度確保技術が同社の強みである。

■多品種・小ロット・短納期に対応

同社は『豊作キャップ』（作物の生育効果を高めるポリエチレン製の帽子状の部材）の製造工場として、1957 年に中川社長の父が大阪市に創業。

都市銀行勤務を経て同社に入社した中川社長は、1996（平成 8）年に現社名に変更。同社の代名詞とも言える創業時のヒット商品名に、Seed（種）と Succeed（成功する）を掛けている。

2003 年の社長就任と前後して、中川社長は経営改革に着手。特に職人技となっていた穿孔加工技術の標準化に努め、経験の浅い工具でもベテラン工具と同様に穿孔機を扱える体制を整えた。

穿孔機にも工夫を施し、工程変更に伴う器具の着脱や調整にかかる時間を削減し多品種・小ロット・短納期に対応したことで、工業用フィルム加工等、新分野の受注増加に貢献した。

■取引先ニーズに応え更なる技術高度化を図る

2014 年には、これまでの受託加工実績を活かし、新たに自社製品の加工販売事業を開始。仕入れたプラスチックフィルムに穿孔加工を施し、卸業者に納入するもので、現在では自社製品が売上の 3 分の 1 程度を占めるまでに成長している。

取引先ニーズに応えるため、同社は加工機械メーカーと共同で穿孔機の独自開発に注力。穴径約 10mm 以上の大穴加工において、丸穴・楕円穴・四角穴等の大量・迅速な加工が可能となった。農業機械でのフィルム張りと同種まきを同時に行えるよう、穴の形状や位置が最適化された同社製農業用フィルムは、大規模農家に愛用されている。

また、生分解フィルム（廃棄後は微生物の働きで水と二酸化炭素に分解され環境に優しいが、裂けやすい上融点が低く加工が難しい）の加工方法を研究し、今後の需要拡大に備えている。

中川社長は「ニーズに応じた、最適なフィルムや加工方法を提案できるノウハウの蓄積が当社の強み。今後、農業用フィルムの需要拡大が見込まれるアジア等への輸出や、新たな産業分野参入にも挑戦したい」と語る。（太田宜志、中井正人）

穿孔機インジェクタピン部（右）、穿孔機全景（下）



不織布の大穴加工にも対応（右）



中川英樹 社長

ホーサクシード株式会社

〒634-0816

奈良県橿原市慈明寺町 149-8

TEL : 0744-22-8821

FAX : 0744-22-2563

URL : <http://hosaku.com/>